

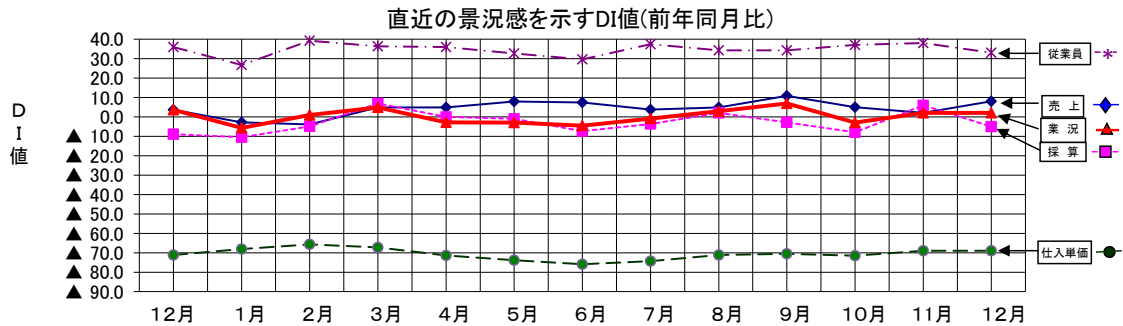
【12月の概要】

「採算DI」は直近、先行き共に大幅に悪化
人手不足に加え、物価・人件費の上昇に苦しむ声が多い

直近の景況感を示すDI値は、「売上DI」が6.0ポイント改善。「従業員DI」は需給均衡局面へと5.0ポイント改善した。一方、「採算DI」は▲11.0ポイントとプラス水準からマイナス水準へと大幅に悪化。「業況DI」、「仕入単価DI」は横這い。

先行き見通しを示すDI値は、「業況DI」が5.0ポイント改善。一方、「売上DI」は▲9.0ポイント、「採算DI」は▲11.0ポイント、「仕入単価DI」は▲5.0ポイントと悪化。「採算DI」はプラス水準からマイナス水準へ転じた。「従業員DI」は前月比横這いであり、人手不足に改善の兆しが見えない。

コメントでは、引き続き人手不足・物価上昇・人件費上昇を課題に挙げる事業所が多く、物価と人件費の上昇が、採算の大幅な悪化に繋がっていると思われる。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数: Diffusion Index の略)=(良い割合)-(悪い割合)
※従業員=(不足)-(過剰)

	2023年 12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2024年 12月	
売上	3.6	▲2.9	▲3.9	4.9	4.9	7.9	7.4	3.7	4.9	10.8	5.0	2.0	8.0	↗
採算	▲9.0	▲10.5	▲4.9	6.9	0.0	▲1.0	▲7.4	▲3.7	2.0	▲2.9	▲8.0	6.0	▲5.0	↘
業況	3.6	▲5.7	1.0	4.9	▲2.9	▲3.0	▲4.6	▲0.9	2.9	6.9	▲3.0	2.0	2.0	⇒
仕入単価	▲71.2	▲68.1	▲65.7	▲67.2	▲71.4	▲73.8	▲75.9	▲74.3	▲71.1	▲70.6	▲71.5	▲69.0	▲69.0	⇒
従業員	36.0	26.7	39.2	36.3	35.9	32.7	29.6	37.4	34.3	34.3	37.0	38.0	33.0	↗

- ・プラス幅が増加したDI値：売上6.0ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員▲5.0ポイント（需給均衡局面へ）
- ・増減のない（横這い）DI値：業況±0、仕入単価±0
- ・プラスからマイナスに転じたDI値：▲採算11.0ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
10月回答	13.0	▲5.0	▲5.0	▲46.0	31.0
11月回答	9.0	1.0	1.0	▲37.0	31.0
12月回答	0.0	▲10.0	6.0	▲42.0	31.0

- ・見通しが改善したDI値：業況5.0ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲9.0ポイント、採算▲11.0ポイント、仕入単価▲5.0ポイント
- ・増減のないDI値：従業員±0ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	ゼネコン	協力企業の人手逼迫は深刻であり、向こう1年以内の新たな工事計画はなかなか立てられない。早め早めの予約と資機材の押さえが必要。
	電気工事	今後売上は増加する予定だが、人手不足、原材料高騰、人件費上昇で採算が確保できるかが今後の課題となる。
製造業	板金・溶接	求人募集は出しているが若い人が定着せず、2、3年でやめるパターンが多い。技術の引継ぎが進まない。
	水産	人手不足による営業展開の遅延があると同時に、人件費の上昇に悩んでいる。
卸売業	コーヒー	価格転嫁は一段落したが、付帯経費の上昇により、採算性が悪くなりつつある。また、世界的天候不順の影響で輸入食品等々がさらに高騰し、価格の再値上げが必要になってくる。
	ホームセンター	物価上昇と実質賃金の乖離により、耐久消費財の購入頻度が減少しており、厳しい環境は続くともっている。
サービス業	運輸	物価上昇による低調な個人消費が荷動きに影響しており、燃料代の高騰をはじめとしたコストの上昇と人手不足の長期化も相まって、厳しい経営状況が続く。
	タクシー	忘年会シーズンだが小規模な会が多く、開催数も減少傾向にあるようだ。12月中旬から下旬にかけての週末の忘年会に期待したい。
	飲食	原材料の米調達価格が上昇し、かつ全てのコストの上昇が起きている。更に人件費の上昇、法定福利費の上昇が加わり収益に影響がでてる。